

令和8年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面（集合型）

研修名	発達障害のある児童にかかわるいじめがなぜ重大事態に至ったのか ～事例分析をとおして対応のあり方を探る～							
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 生徒指導 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		プログラム指標 （しまだい）	子ども支援 学校創造				
キャリアステージ	自立・向上期（1～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）				
	探究・発展期（10～20年目）	○		応用（学部3・4年レベル）				
	充実・円熟期（20年目以降）	○		発展（大学院レベル）		○		
開設日	令和8年9月18日（金）午後		時間数	3時間	受講定員 20名			
会場	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設）		所在地	島根県松江市大輪町416-4				
授業形態	講義、演習		対象校種	幼	小	中	高	特
					◎	◎	○	○
			対象校種外の方は受講できません。					
実施方法	対面（集合型）		対象教科	全教科				
			対象職種	教諭、養護教諭				
担当講師	<small>みしま しゅうじ</small> 三島 修治（元島根大学教職大学院 特任教授） <small>おむら としよし</small> 小村 俊美（小村臨床心理士事務所所長、元浜田児童相談所所長） <small>はら まち</small> 原 市（原市法律事務所、島根県弁護士会 弁護士）							
研修内容	<p>小中学校における、いじめの発生件数は増加している。しかし、いじめをいじめと認知しないで、児童生徒間の人間関係のトラブルと置き換えたり、普段ありがちな問題と捉えたりして対応が遅れ、中には重大事態に発展したり、命にかかわったりする事案も見られる。本研修では、発達障害のある児童にかかわるいじめの事例を分析し、学校における対応の在り方や保護者対応について受講者同士でも意見を交わし、早期発見、早期対応のヒントを探る。</p>							
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。						
	13:10～13:30	受付						
	13:30～13:40	オリエンテーション						
	13:40～15:00	発達障害のある児童がかわるいじめ重大事態の事例の分析（1）（三島、小村、原）						
	15:00～16:00	発達障害のある児童がかわるいじめ重大事態の事例の分析（2）（三島、小村、原）						
	16:00～16:30	事例分析のまとめ（三島、小村、原）						
16:30～16:45	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時							
研修に関して各自準備するもの	・自校の「 <u>いじめ対策基本方針</u> 」をご用意ください。							
事前課題	・特になし							
その他	・募集要項に記載の携行品等をご持参ください。							